



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報委員会

勝浦RC

千葉 正徳

環境委員会

館山RC

吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

8月20日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

【いすみ鉄道 鳥塚亮社長】

8月27日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

【産廃問題 高梨竹雄氏】

9月の例会プログラム

3日(金)ゲスト卓話

【勝浦市の水道事情

勝浦市水道課課長 藤平光男氏】

10日(金)ゲスト卓話

【遠見岬神社 小林宮司】

17日(金) 秋祭りのため休会

24日(金) ガバナー補佐訪問

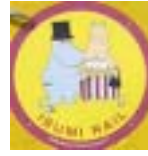
クラブ協議会

CURRENT TOPICS ~ ゲスト卓話【いすみ鉄道 鳥塚亮社長】

8月6日(金)に、いすみ鉄道の存続が決定しました。わずか1年足らずでそれを実現させた鳥塚社長から、経営再建の取り組み、感動的なお話を伺いました。



ムーミン列車



【朝日新聞社 asahi.com より抜粋】

いすみ鉄道が、訓練費として700万円を自己負担して同社で訓練を受け、国土交通省の列車の運転免許を取得するという社会人対象の運転士養成プランを発表した。資格取得後、囑託の運転士として週1日以上、運転するという計画。

会長挨拶 渡辺幸男直々前会長

大変暑い毎日が続いておりますが、ご出席の皆様は夏バテの様子も見られず素晴らしいと思っております。今日出かけに。

家の前に、みずほ学園さんからの鉢が置かれていました。白い花が咲いておりまして、名札を見たら「サンパチエンス」という草花だそうで、牧野さんが会長のときに会報に書かれていたこ

英語名ではサン(Sun) + ペイシエンス(Patience)つまり太陽 + 忍耐ですから、夏に強いのでそういう名前がついたのかと考えています。この草花の素晴らしいところは、炭酸ガスを吸収するという本来の力に加えて冷却作用があるらしく、打ち水作用があって、この花を一面に植えると温度が何度か下がることで知られているそうです。そんな話を伺ってから4年経っても全国的には広がっていないというのは、何か欠点でもあるのかと思うのですが、暑い日が毎日続きますと、こういうものにも頼りたくなるなと思いつつ、家を出てまいりました。

皆さんも注目していたと思いますが、いすみ鉄道の存続が8月に決定いたしました。本日は、社長様からこれまでのご苦労話やこれからの展望について伺えると思っておりますので、大いに期待したいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



幹事報告 中村満幹事

地区大会に関して地区大会委員長からのお知らせ

- ・ 選挙人選出のお願い
- ・ クラブ個人表彰推薦のお願い
- ・ バスの駐車利用について



委員会報告 漆原摂子 前クラブ会報委員長

1年分の会報を ファイル形式にまとめたものを15部ほど作ってございますので、ご希望の方はお申し出ください。



委員会報告

インターアクト委員会 岩瀬文夫委員長

2010-2011 年度インターアクト第 2 回合同会議

日時：2011 年 8 月 24 日（14 時～17 時）

会場：東天紅（千葉市センシティタワー23 階）

議題：インターアクト国外研修内容について

第 3 回インターアクト合同会議開催について

地区大会（新世代国際親善のつどい）について

第 44 回インターアクト指導者講習会開催について

第 44 回 1 インターアクト年次大会報告

参加者：水島インターアクト顧問教師

インターアクト生徒・浜口優芽

岩瀬インターアクト委員長



ロータリー情報委員会 牧野利美委員長

明日、地区クラブ奉仕委員会セミナーが行われ、渡辺昌俊君・関正巳君と私が参加します。セミナーの内容は、会員増強がメイン、広報と IT 関係です。

日曜日は、有志によるゴルフコンペを行います。優勝者のニコニコ BOX を楽しみにしています。

9 月 26 日（日）ロータリー情報研究会が開催されます。

後日ご通知いたしますが、場所は館山の「夕日海岸ホテル」参加者は会長、幹事、会長エレクト、副会長、職業奉仕委員長、ロータリー情報委員長、合計で 8 名以上

の参加をお願いします、とありますので、個々にまたお願い致しますので、宜しく
お願い致します。



ニコニコ BOX 親睦活動委員会（中村昇委員長）

配偶者誕生日 中村昇 君

今のところ、とても元気で頑張っております。ありがとうございました。



自主申告 釜田英之 君

勝浦小のソフトボール部が千葉県大会で優勝し、全国大会に出場しました。「1 回戦で岡山代表チームと対戦し大健闘したものの、残念ながら敗退してしまいました。ご協力ありがとうございました。」という報告がありました。



自主申告 千葉正徳 君

クラブ活動計画書の表紙の写真の頭を垂れている人物は高梨先生だと思っており、高梨先生自身も自分だとおっしゃってましたが、実は私だということが判明いたしました。



自主申告 高梨薫敏 君

今、千葉さんから報告があったように、これは私だと思っており、千葉さんに説得されて納得しました。今日、立派に活動計画書が完成して、収支決算報告書等も立派にできていました。私の幹事の年度ですが、前年度より繰越金がちょっと少なくなっておりますが、留学生もいましたし、この程度なら良かったかなと感じております。



自主申告 水野敬泰 君

今お話に出ておりました活動計画書の表紙の写真ですが、私が塩田病院の 8 階にいた時に見た景色、まさにこれなんです。暑い折でございますので、みなさんお体には十分お気をつけてください。



自主申告 村石愛二 君

今日の卓話者の方は、私も大多喜に農場がありますので、一度お会いしたいと思って、今日名刺交換ができありがたく思っています。私も会員増強の一員として先程からアタックしております。



自主申告 渡辺昌俊 君

先々週、私が出版した本の紹介をさせていただきました。皆様に多くご購入いただきありがとうございました。大きな書店では平積みしてくれる所も出てきておりまして、100 万部とは言えないまでも 10 万部くらいいけばいいなと思っております。



自主申告 中村満 君

ようやく活動計画書が出来上がりました。5 回校正を繰り返して、それでも 1 箇所間違いがあるのが本当に残念です。写真には少々インチキがございます。写真を修正して挿絵してあるのは興津の海岸で撮ったものです。



ゲスト卓話

いすみ鉄道社長 鳥塚亮氏

今日はお招きいただきありがとうございます。いすみ鉄道が存続できるかどうか、この20年 - 21年が検証期間でした。私が前任の吉田前社長から引継いだのが21年の7月で、期限の22年3月まで9ヶ月しかなく、県の方から「検証期間を延長するか」と言われました。しかし、大多喜高校が定員割れすると色々な風評がありましたので、「最初に決めた通りでいきましょう」と申しました。たくさんの応援をいただき、3月31日までの実績で何とか存続が決定いたしました。ありがとうございました。私は東京・池袋の出身で、これまで成田で「プリティッシュエアウェイズ」という外国の航空会社の運航管理者を20年間しておりました。住まいは佐倉ですが、父は勝浦出身ですので、子供の頃から（その当時は両国発の蒸気機関車でしたが...）毎年夏、興津に来てひと夏過ごしておりました。この地域はとても懐かしく思えます。今でも、東京から何個トンネルを抜けたら（土気で線路が変わり当時よりトンネルが1個減り、今はトンネル22個ですが...）興津だとか覚えてます。房総はとても懐かしいです。

いすみ鉄道はローカル線で、公共交通機関としてどうか？と言われると正直8割がた役目は終わっています。なのに何故そういう鉄道を残すんだ？とよく問われます。

過去、国鉄分割民営化の以前から赤字ローカル線の廃止問題はずっとありました。「乗らないからいらない」という理論で考え、JRが営利企業になって、赤字のところ設備投資はしないと言うなら、外房線も内房線も廃止になります。外房線の上総一宮から下、内房線の君津から下に鉄道は無くなります。事実、今年3月のダイヤ改正で、内房線の特急さざなみが、朝9時台と夕方17時台の間、1本も特急が走らなくなりました。

館山道とアクアラインの影響がありますが、外房も内房も特急が京葉線周りで東京に入るようになって、錦糸町や船橋、千葉からのお客様が乗れなくなり、特急には東京からのお客様しか乗らない、という最悪の状況を作り、バスの方が強くなるという悪循環にはまるわけです。ですから、



私は今あるものをどう生かすか？を考える事が、鉄道の最盛とともに地域の活性化に繋がると思っています。



いすみ鉄道で何とか観光客を誘致できないかと考え、昨年赴任した時に、まず、いすみ鉄道の沿線をもっと歩いてみました。駅の構内の広さや道路の位置を見て廻ると、ちょうど国吉駅が良いポイントだと思い、地元の商工会や商店街の方々に「ここにお店を出したい」と申ししたところ、「田んぼの中の無人駅で何で店なんかやるんだ？誰が買いに来ると言うんだ？」と、みな腹抱えて笑うんです。「観光客が来ますよ」と私が言うと、声揃えて「来るわけねえだろ」

さらに「観光客呼ぶためには、まずはトイレを綺麗にしなければいけない」と言うと、「便所なんかきれいにしてどうするんだ？」これが地元の反応でした。そんなリアクションにめげずに「ここにはお金がいっぱい落ちてます。みなさんには見えないんですか？」と言いました。しかし、中には時代の流れに敏感な方がいて、いろいろ語り合っていくうち「おもしろい、やってみよう！」と協力者が現れ『いすみ鉄道 応援団』というのができました。これまで毎年夏、いすみ鉄道は高校生もおりませんし、観光客も全くいないのでシーズンオフになってしまい、点検作業の時期となるのですが、『ムーミン列車』を走らせましたら、今年は観光バスの予約だけで40本ありました。雑誌や新聞、テレビ番組で宣伝してくれ、旅番組やドラマのシーンに使われたり、本当に観光地になっちゃったんです。これには私もびっくりです。地元の人たちには『驚いた！』とは言えませんがね..(笑)

有名な女性情報誌『オズマガシン』の表紙を飾りまして、若い女性たちが、その雑誌で紹介されたポイントを巡る、そして記念写真を撮って帰る...そんな所になりました。そういう状況を見て、最初は「いすみ鉄道はいらない」と言っていた県の方も市町のえらい方たちからも「何とか頑張れ」と言っていただけで1年弱の間でなりました。『大多喜高校と大原高校の生徒を運んでいるだけのいすみ鉄道』でしたが、それも右肩下がり...需要は新しく作り出すものだ、と認識しています。売上が落ちてくれば、やり方に間違いはないか？とか社会に貢献しているのだろうか？とか考え、テコ入れをどんどんしていくのが民間のビジネスだと思うのですが、県や市町がやっている第三セクターの鉄道は、そういう取り組みをしてこなかった。何もしてこない中で、このまま潰してしまうのはもったいない。

まして、日本の人口の3分の1が集まっている東京から1時間半で来れるエリアですから、活性化ができた、ある方向性を見出す事ができれば、日本のローカル線全体が元気に

なっていくんじゃないか?と思い、やってまいりました。

昨日、国土交通省の関東運輸局に行きまして、運輸局長（雲の上のような人ですが...）とお会いしました。「いすみ鉄道がんばっているから応援するぞ!」とおっしゃっていたので、なにか支援金でも出していただけるのか...なんて思いましたが...まだ公開してないのですが、昭和47年の7月に外房線が電化したのですが、それまで房総半島はディーゼルカーばかりでした。その当時走っていたディーゼルカーがまだJR西日本に3両残っています。それが、この8月で全部廃車になりますが、そこで走っている3両というのが、当事、外房線で走っていたのと同じタイプのディーゼルカーで、大糸線というところで走っています。1両はJR西日本の博物館に入れる、もう1両は地元の糸魚川市が保存するそうです。私「もう1両はどうするんですか?」と交渉したら、「いすみ鉄道に持ってきて良いよ」という話になりました。そうすれば、写真を撮りにマニアの方が来る。鉄道ですから、写真を撮るために人が集まっても本来は嬉しくない、乗って来て何ぼのもの。でも、いすみ鉄道は第3セクターですから、地元の広告塔になって、いすみ~大多喜~勝浦の地域に人が来る、集まる、ということが大切ですし、ひとつの貢献できることではないかと考えています。

いすみ~大多喜は美味しいものを食べれるところや宿泊できるところがあまりないです。そういう意味で、せっかく来てくださった観光客の人たちに喜んでいただくには、勝浦や御宿は欠かせないんです。お客様に食事や宿泊でおもてなしをしていただけるよう、皆様にもご協力をいただきたいし、その広告塔になれるように、いすみ鉄道はがんばっていきたくて考えています。

お金がないのでCMの制作や広告費にかけることはできませんが、鉄道というツールがあれば、TVドラマや



取材が来るとか全国区になるのは可能だと考えています。たとえば、ご存知かと思いますが、「700万円で運転手になりませんか?」という全国初の試みですが、4人分で2,800万円キャッシュで入ってくるわけです。今ある設備とベテランの人員を有効利用するだけで、仕入れは何もありませんから(笑)。これを4年間続けて、それだけで1億以上の収入になります。収入も目的の一つですが、それ以上に、あちこちから取材に来てくれまして、NHKから

は密着取材もしてくれまして、地元の人たちが、テレビでいすみ鉄道を知り、ムーミン列車を見るんです。東京に嫁いだ娘さんに「今、いすみ鉄道がやってるよ」と連絡するんです。そこで地元を離れた人も、いすみ鉄道の今の状況を知る訳です。他で評価を受けると嬉しいもので、あらためて関心を持つようにもなるんですね。いすみ鉄道をツールとして、みなさん夫々にお使いいただく。



いすみ鉄道に来ると言った『キハ52』というディーゼルカーは、ほぼここだけになります。『商品化権』というのがありますが、模型にするとか、キーホルダーにするとか、そういうことを地元の人たちにぜひやっていただきたい。おみやげでも何でもいいんです。ご商売をしていただき、私どもに権利料5%だけいただければ、それだけで結構な収益になりますので...(笑)みなさんも一緒になっていすみ鉄道を利用してビジネスにつなげていただければ、それが地域の活性化にも結びつくと思いますので宜しくお願い致します。



そうでなくても、日本の里山の風景をシュシュポップと汽笛を鳴らしながら走っていくのが、日本の原風景だと思っていますし、とても旅の雰囲気にしてくれるんじゃないかと思うんです。

地元の方達に一人でも多く利用して欲しい、そんな発想は私にはありません。車を置いて鉄道に乗る、なんてことは無いでしょうから。どこのローカル線でもそれをやって失敗して存続できなくなるんです。私は地元の方達に会って話す時も、そんな事は一度も言ったことがありません。「どうやったら残るか考えてください」そう言って頑張ってきました。

今、観光客が増えてきたからと言って、未来これで存続できるわけではありません。車両・線路の老朽化いろいろあって設備投資のために資金が必要になってきます。観光客を呼び込む物販、その他いろいろ情報の発信をして地域とともに歩んでいかなければならない状況ですので、今後とも『いすみ鉄道』を心の片隅に置いていただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

出席報告 8月20日(金)出席委員会(関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
43名	31名	6名	6名	86.04%

欠席者：伊藤治昌 高橋奈緒美 田中 智 林 重利
吉野裕子 渡辺 保